

カンザスシティのジャズ

Itsuki Fujiwara

【初めに】

中学生の時の部活でアルトサックスを吹いていて、ジャズに興味があった。

カンザスシティはジャズで有名だときいたので、ホストファミリーに頼んでジャズが聴けるカフェに連れて行ってもらい、本場のジャズを聴くことができた、



そんな中でもっと知りたいと思い、調べることにした。

カンザスシティ空港内で➤

📍 なぜカンザスシティがジャズの中心地なのか？

アメリカでは 1919 年に禁酒法が成立したが、カンザスシティだけ

はそれをほぼ無効化していた政治家がいたことにより、自由にお酒が飲める地域だった。賭博やナイトクラブなども多くあり、そのことでジャズミュージシャンに仕事をもたらすことができた。また、鉄道網の要所だったため人々が立ち寄りやすく、ジャズバーなどが賑わい、その文化が根付いたともいわれている。

📍 私が聴きに行ったジャズ

↖ ホストブラザーのバイト先

カフェでいろいろなジャズミュージシャンが順番に演奏する



プラザにあるホテルの一部 ↗

お酒を飲んだりしながらゆったりジャズを楽しんでいた。

📍 カンザスシティの代表的なジャズミュージシャン

- ・ カウント・ベイシー (1904～1984) ジャズピアノ奏者
- ・ チャーリー・パーカー (1920～1955) アルトサクソ奏者
- ・ ジェイ・マクシャン (1916～2006) ジャズピアノ奏者、ジャズ歌手

- ・ ビッグ・ジョー・ターナー (1911～1985) ブルースシンガー
- など数々のジャズアーティストを生み出した

【最後に】

本場のジャズを生で聴くことができとてもいい思い出になりました。カンザスシティではショッピングモールや街中でバンド演奏やジャズの演奏がされており、今でも自然に音楽に親しんでいる様子が見られました。バーやレストランなどジャズを聴くことができる場所をもっとたくさんあると思うので、またぜひ行ってみたいです！